

第31回 議会報告会

『市民と議会のつどい』

19時00分 議会報告会 開会

議長 開会挨拶

19時15分 各常任委員長から議会報告

～報告についての質疑

19時40分 休憩

(この間に複写用紙を回収させていただきます)

19時50分 意見交換会

20時30分 意見交換会終了

副議長お礼挨拶 閉会

本日はご来場いただき、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症対策
にご協力をお願いします。

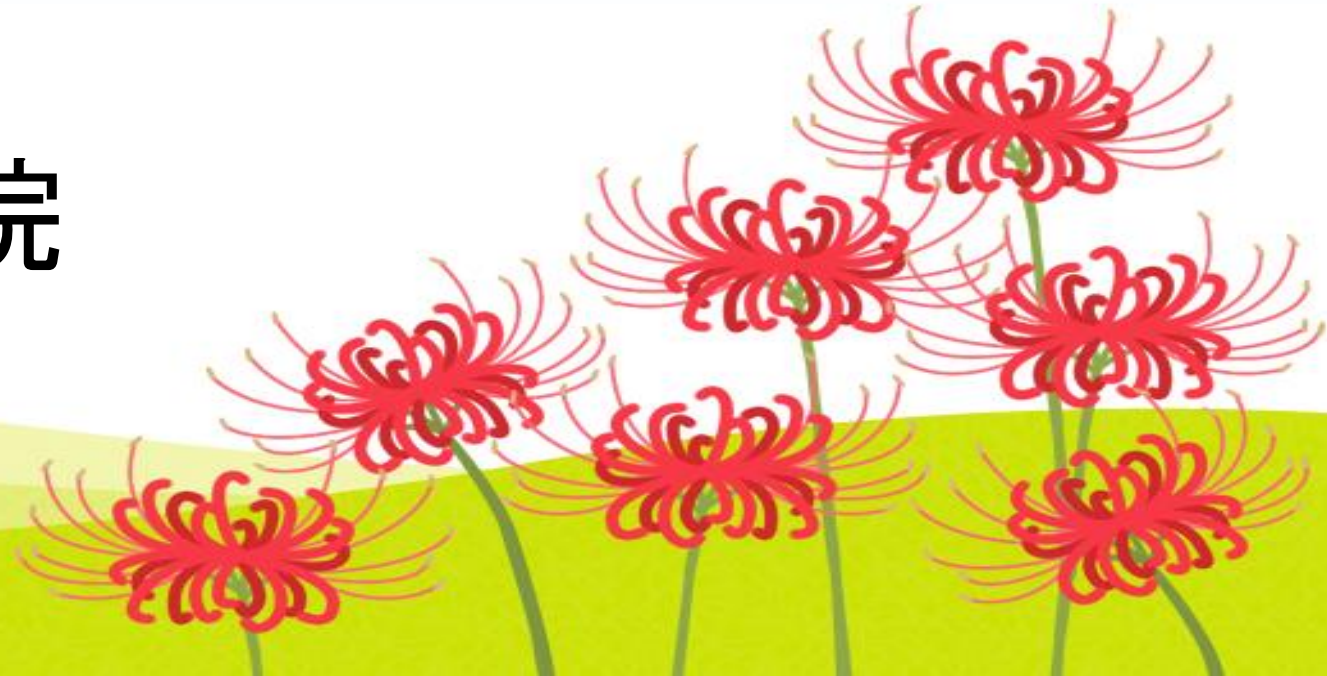
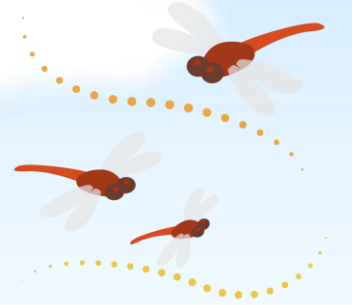
マナーモード
電源OFF



総務委員会

主な所管

総務・企画
財政・防災
市立半田病院



◇多文化共生推進事業

決算額/409万6千円

事業内容

外国籍市民・多国籍化に対応するため策定した「多文化共生プラン」に基づき、「多文化を支えるひとづくり」「共生のための支援」「協働によるまちづくり」を基本目標に多文化共生社会の実現を目指す。

多文化共生を力として元気なまち半田を創る計画



◇多文化共生推進事業

決算額/409万6千円

質疑

（一部抜粋）

Q. この事業は、どのような成果が出てきていますか。

A. 外国籍市民の相談について、利用された方が属する独自のコミュニティにより、相談窓口の周知が図られ、相談件数増加につながっています。

Q. 半田市における課題をどのように捉えていますか。

A. 相談内容を分析するなど、課題解決に繋がる施策へ如何に反映していくかという点が課題であると認識しています。



◇感震ブレーカー設置促進事業

決算額17千円

事業内容

火災の延焼拡大する恐れがある地域、初期消火及び避難行動に時間を要する高齢者、障がい者等のいる世帯について、感震ブレーカーを設置した費用の一部を補助し、大規模地震時の電気に起因する火災の被害を軽減する。

通電火災とは

地震による停電から復旧する際、電源が入った家電製品や落下物で断線したケーブルに通電して発生する火災を「通電火災」と呼びます。



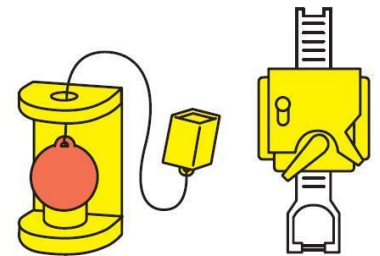
感震ブレーカー(分電盤タイプ)

感震機能付分電盤

外付けタイプ



単3中性線欠相保護付 漏電ブレーカ AB-60J型 感震ブレーカー機能付 の場合



簡易タイプ

◇感震ブレーカー設置促進事業

決算額17千円

質疑

（一部抜粋）

Q. 目標値500件に対し実績が6件とのことですが、どのように捉えていますか。

A. 市報やホームページ、イベント時のチラシの配布などPR活動を行いました。6件の申請に留まりました。感震ブレーカー設置の重要性について、十分な啓発が行えたとは言い難いため、今年度は広く行き届くポスティングを行い、周知に努めるとともに、補助については検討する必要があると考えています。



通電火災とは

地震による停電から復旧する際、電源が入った家電製品や落下物で断線したケーブルに通電して発生する火災を「通電火災」と呼びます。





主な所管

福祉・教育
健康・子育て支援

文教厚生委員会

◇地域福祉推進事業

（アウトリーチ継続的支援事業）

決算額/1,987万円

事業内容

8050問題やヤングケアラーなど生活課題を抱える家庭や、福祉制度の狭間で必要な支援が届いていない方に対し、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が関係機関と連携しながら対象の家庭を訪問し相談支援等を行います。



◇地域福祉推進事業

（アウトリーチ継続的支援事業）

決算額/1,987万円

質疑

（一部抜粋）

Q. 切れ目のない支援のために教育機関との連携が重要だと思いましたが、どのように実施をしましたか。

A. 半田中学校ではコミュニティソーシャルワーカーが学校の会議に出席し、スクールソーシャルワーカーをはじめとした学校関係者との連携を行っており、今後は他の学校とも連携を図っていきます。



◇学校生活支援事業

決算額／8,481万4千円

事業内容

集団生活になじめない児童生徒への支援や授業中の学級補助等の支援を行うことにより、安定した学校生活を送ることができるよう、小中学校へ生活支援員が配置されました。また、特別支援学級には補助員を配置し学校生活を補助を行い、特別支援教育相談員はそれぞれ学級を巡回し、担当教諭・補助員・コーディネーター等への研修・指導を行います。



◇学校生活支援事業

決算額／8,481万4千円

質疑

（一部抜粋）

Q. 支援を要する生徒児童は、それぞれの状況に合わせた必要な支援が受けられていますか。

A. 就学先や支援内容については、教育支援委員会にて個別に検討することとしていますが、最終的には保護者の希望を優先しており、状況に応じて必要な支援を検討・実施していきます。



建設産業委員会

主な所管

建設・環境・経済・観光・水道

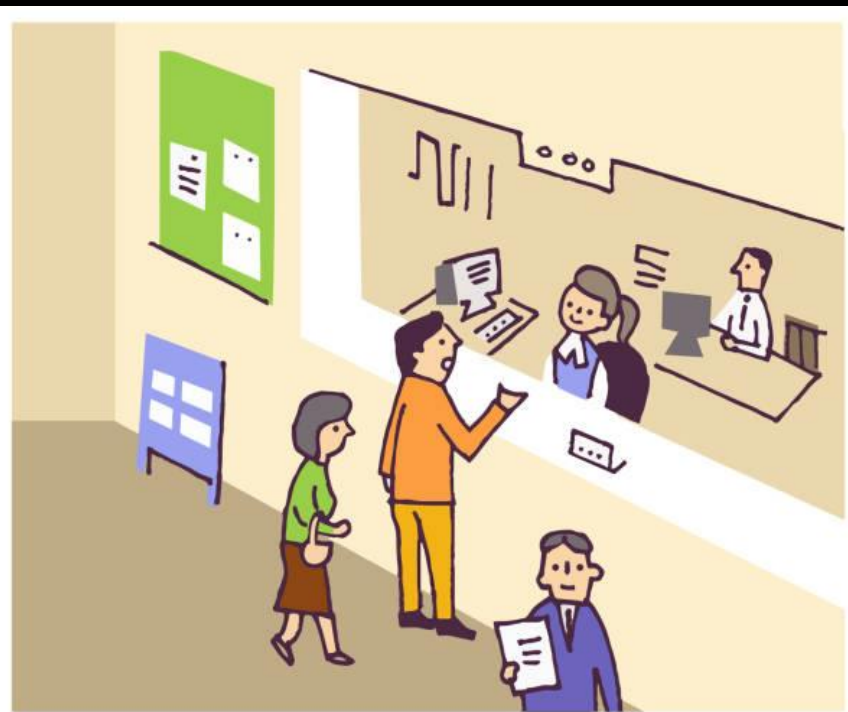


◇ 諸証明事務事業

決算額／1,047万5千円

事業内容

市民が必要とする諸証明の発行事務



この謄本は、戸籍の原本と相違ないことを証明する。

平成 年 月 日

〇〇〇〇

印

姓	名	性別	生年月日	出生地	婚姻	職業	住所	備考
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

住民票

姓	名	性別	生年月日	出生地	婚姻	職業	住所	備考
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

印

◇ 諸証明事務事業

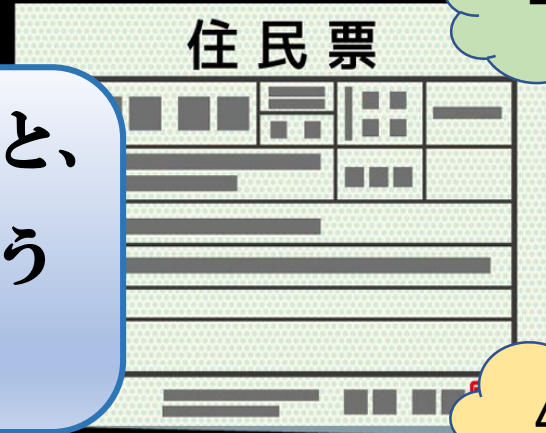
決算額／1,047万5千円

質疑

（一部抜粋）

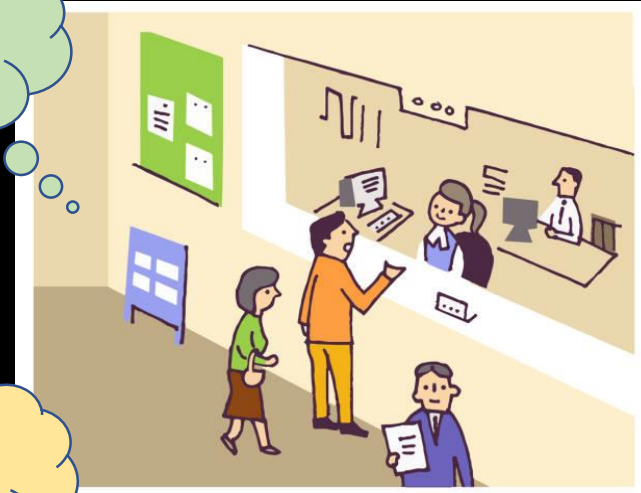
Q. 窓口で発行する証明書の経費単価と、コンビニ交付での経費単価は、どのようでしょうか。

A. システム費用等を含めての算出は難しいものの、含めずに計算すると270円、人件費を含まないコンビニ交付は470円です。コンビニ証明書発行枚数が増加するほど、経費単価は減少します。



270円

470円

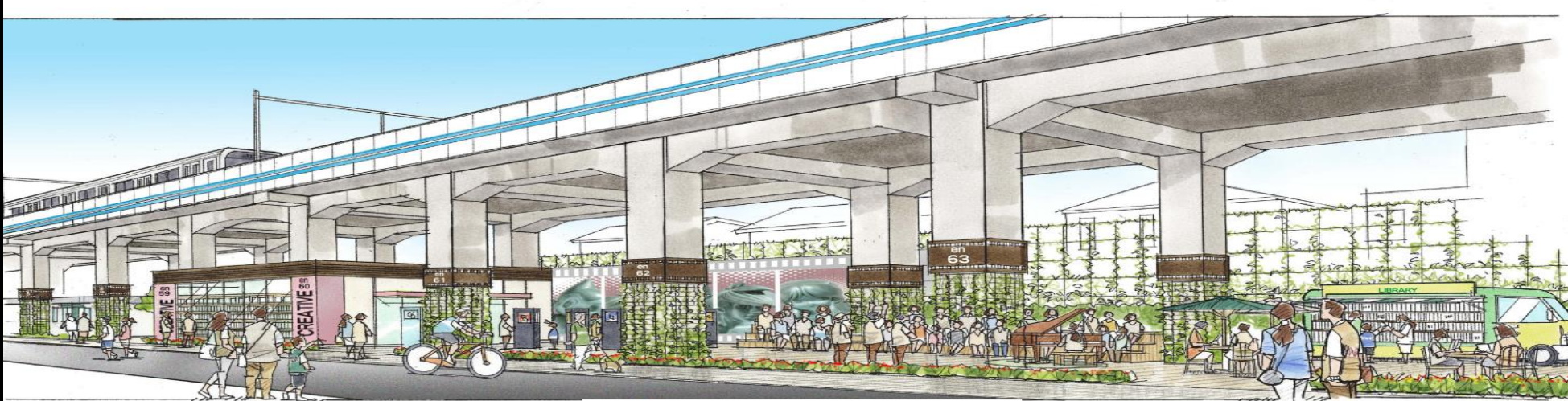


◇ JR武豊線高架化空間活用検討業務委託料

決算額／498万4千円

事業内容

市民や事業者に、高架下の活用についてアンケート調査を実施した。



◇JR武豊線高架化空間活用検討業務委託料

決算額／498万4千円

質疑

（一部抜粋）

Q. 市民、事業者等にアンケートを実施したとのことだが、結果はどのようなのですか。



A. すべての地区で、商業施設の設置ニーズが一番大きいことがわかりました。加えて、半田小学校付近や、港本町周辺では、教育施設や、福祉施設の設置を希望する声がありました。開発事業者へのアンケートでは、回答があった事業者のうち、約45%が、高架下活用に携わりたい意向があることがわかりました。

第31回 議会報告会

『市民と議会のつどい』

～報告についての質疑～

第31回 議会報告会

『市民と議会のつどい』

～休憩～

第31回 議会報告会

『市民と議会のつどい』

～意見交換会～

第31回 議会報告会

『市民と議会のつどい』

19時00分 議会報告会 開会

議長 開会挨拶

19時15分 各常任委員長から議会報告

～報告についての質疑

19時40分 休憩

(この間に複写用紙を回収させていただきます)

19時50分 意見交換会

20時30分 意見交換会終了

副議長お礼挨拶 閉会

本日はご来場いただき、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症対策
にご協力をお願いします。

マナーモード
電源OFF

